

松山市 (〒790-8571 二番町四丁目7-2)

Table with 3 columns: 試験区分, 年齢 (下記の期間に生まれた人), 募集人数. Rows include 事務職 (初級, 上級学芸員) and 技術職 (保育士, 保健師, 栄養士, 心理判定員).

- ①は、学校教育法による4年制大学において2年を超えて在籍した人を除く
②は、学芸員の資格を所有または平成27年度中に当該資格を取得見込みの人
③は、学芸員の資格を所有または平成27年度中に当該資格を取得見込みの人
④は、障害者手帳の交付を受けている人で、自力により通勤ができ、かつ介護者なしで一般事務職の職務遂行が可能の人

お問い合わせは、人事課 (市役所本館4階) ☎948-6940・☎934-9205へ



平成27年度松山市、市消防局、松山広域福祉施設事務組合、(福)市社会福祉事業団、(公財)市男女共同参画推進財団の職員採用試験を次のとおり行います。詳細は各実施要領を確認してください。

第1次試験日 9月20日(日)
※市事務職障がい者の第1次試験日は9月27日(日)
実施要領・申込書人事課、市役所本館1階案内所、(消)総務課、松山広域福祉施設事務組合事務局、(福)市社会福祉事業団総務課、(公財)市男女共同参画推進財団総務係、支所、市民サービスセンター、市東京事務所にあります。また、各団体のホームページから印刷できます。

平成27年度

職員募集

8/3(月)~18(火) 受け付け

(福)市社会福祉事業団 (〒790-0808 若草町8-3)

Table with 3 columns: 試験区分, 年齢 (下記の期間に生まれた人), 募集人数. Rows include ①事務職 and ②技術職 (看護師).

※②は、看護師の免許を所有または平成27年度実施の国家試験で当該免許を取得見込みの人

お問い合わせは、(福)市社会福祉事業団総務課 (市ハーモニープラザ3階) ☎921-5311・☎921-5995へ

市消防局 (〒790-0811 本町六丁目6-1)

Table with 3 columns: 試験区分, 年齢 (下記の期間に生まれた人), 募集人数. Row includes 消防職 (初級).

※学校教育法による4年制大学において2年を超えて在籍した人を除く

お問い合わせは、(消)総務課 (市消防局4階) ☎926-9214・☎926-9144へ

松山広域福祉施設事務組合 (〒790-0003 三番町六丁目6-1)

Table with 3 columns: 試験区分, 年齢 (下記の期間に生まれた人), 募集人数. Rows include ①技術職 (看護師) and ②労務職 (介護員).

※①は、看護師の免許を所有し、医療機関・福祉施設などにおいて看護業務経験を正職員などとして継続して1年以上就業した期間が平成27年8月1日現在で通算おおむね3年以上ある人
※②は、介護福祉士の資格を所有または平成27年度実施の国家試験で当該資格を取得見込みの人

お問い合わせは、松山広域福祉施設事務組合事務局 (市役所第四別館4階) ☎948-6416・☎931-7290へ

(公財)市男女共同参画推進財団 (〒790-0003 三番町六丁目4-20)

Table with 3 columns: 試験区分, 年齢 (下記の期間に生まれた人), 募集人数. Row includes 事務職.

お問い合わせは、(公財)市男女共同参画推進財団総務係 (市男女共同参画推進センター1階) ☎943-5776・☎943-0460へ



みそ作りを学ぶ

「心と心をつなぐ本読み活動」を行っています。子どもたちは、書店の協力を得て並んだ約300冊の中から選んだ本を読んでもらいながら、一緒に歌ったり、笑い合ったり、おしゃべりを楽しんだり、楽しい時間を過ごします。最後には一緒にダンスを踊り、握手やタッチでお見送り。子

優しさに包まれた双葉っ子

双葉小学校は、雄郡小学校とたちばな小学校から分離して新設された創立25周年の学校です。新しい伝統を築いてほしいという創設以来の願いのもと、地域のひととの触れ合い・つながりを生かした活動に取り組んでいます。2年生は毎学期、地域の高齢者と絵本を通じて触れ合う



第42回 双葉小学校

児童数 男316人・女330人・計646人 (平成27年7月1日現在)



同じ目線で絵本読み

「とりの本を読んでもらっていっぱい話したら、心と心がつながっていい気持ちになりました。」 (2年生男子)
みそ作りの手順を分かりやすく教えてもらい、上手に作る事ができました。手作りのみそは、格別においしかったです。 (6年生女子)

「心と心をつなぐ本読み活動」について学び合い、6年生はマンツーマンに近い交流の中で平和や命の大切さについて深く考えます。こうした地域の人たちの優しさに包まれた体験を積み重ねながら地域の一員としての意識をもち、地域をますます好きになっていくことを願っています。「大好き双葉！」